

大学で見つけて描いた将来の夢。

中原 昌哉 [第二高校(熊本県)出身]



子 どもの頃にテレビゲームと出会い、その画面上の表現に感動した僕は、いつか自分もみんなを楽しませるゲームを作りたいと思うようになりました。目指したのはゲームプログラマー。高校の担任の先生は、真っ先に九工大を紹介してくれました。

知能情報工学科では、人工知能の基礎やプログラミングを学び、現在は修士への進学を見据えながら、大規模データの圧縮と高速化について研究しています。

そして今の僕は、ゲームプログラマーではない、別の夢を描いています。IT系ベンチャー企業で、アルバイトとしてソフトウェア開発のお手伝いをするうちに、システムの企画や設計に携わりたいと思うようになったのです。経験を積み、見聞を広め、将来はSI(システム・インテグレーション)系の大きな仕事をしたいと思っています。

皆さん、受験勉強は苦しいけれど、将来後悔しないよう、今は楽な道を選ばずに頑張ってください。

自分が本当にやりたいことは何か、見極めよう。

福田 桃子 [筑紫女学園高校(福岡県)出身]



情 報工学を専門的に学びたくて、研究室が充実している九工大を選びました。初めてC言語プログラミングを勉強しましたが、実際に、自分が設計した通りにプログラムが動いた時は本当に驚きました。2年生では応用編が学べるということで、楽しみにしています。私は小さい頃からずっとものづくりが大好きなので、将来は、大学で学んだ知識や技術を生かしてプログラミングなどに携わり、何かを創り出していく仕事がしたいと思っています。

勉強だけでなく、部活動も頑張っています。先輩方をはじめいろいろな人達と交流できて、とても素晴らしい経験をしていると思います。

大学生活は楽しいですが、大変なこともあります。壁にぶつかったとき、自分が目指している方向に向かっていけば乗り越えられると思います。後悔することなく目指す道を進めるよう、本当に自分のしたいことは何なのかをよく考え、見極めて大学や学科を選んでください。